

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ヶ根大使村プロジェクト
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根国際交流事業実行委員会 (駒ヶ根市赤須町 20-1)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大(ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,891,966 円 (うち支援金: 1,496,000 円)

### 事業内容

#### 【中沢小学校5年生のネパール交流】

実行委員、青年海外協力隊帰国隊員及び現役隊員が調整役となり、駒ヶ根市立中沢小学校5年生とネパールの児童との交流を行った。また、大使村まつりにおいてネパール料理の出店を行った。SDGsの学習を行った。

#### 【こまがね大使村まつり】

駒ヶ根大使村プロジェクトのプロモーションと交流事業の発表の場を兼ねて6月と10月の2回開催。既存のイベントとJICA駒ヶ根開設40周年記念イベントと合わせて開催し、事業効果の最大化を図った。イベントには参加大使館がブースを出展し、自国のプロモーションと市民との交流を行った。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

#### 【中沢小学校5年生のネパール交流】

ネパールの同年代の児童と交流し国際感覚を身に付けることができた。また、SDGsカードゲームを通して国際協力に対する理解を深めることができた。

#### 【こまがね大使村まつり】

6月 7か国の大使館と24名の大使館関係者が参加。  
100名の帰国隊員が参加。

10月 6か国の大使館と15名の大使館関係者が参加。  
40名の帰国隊員が参加。

駒ヶ根の国際色を大使館及び市外から参加した帰国隊員にアピールすることができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

多くの大使館が大使村まつりに参加することで、国際色豊かな駒ヶ根をアピールすることができた。また、過去2年の取り組みで地域住民に対しても当プロジェクトを周知することができた。今後はより具体的に大使館と市内の機関との交流を進めていくため、大使館に対して継続的に働きかけを行い、市内の機関にもより具体的な交流の形を提案していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



#### 【こまがね大使村まつり】

駐日ミクロネシア大使と記念撮影

#### 【目標・ねらい】

- ①商店街の賑わい創出
- ②交流人口の増
- ③国際色豊かなまちづくり
- ④SDGs、国際協理解

#### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

大使館との交流という他に類を見ない特色あるプロジェクトである。他のイベントと合わせて開催することで効果の最大化を図った。